

田原市の図書館

図書館事業年報(平成27年度)



田原市図書館

平成 28 年度田原市図書館の目標

田原市図書館は、図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準、田原市総合計画、田原市教育振興基本計画及び「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」にもとづき次の5つの目標の達成に向けて、事業を立案し、実行し、評価します。毎年度末に目標の達成状況をチェックし、次年度の目標の修正を行います。目標の達成の程度を示す指標の設定や、達成状況の評価方法については、今後の検討課題とします。

平成 28 年 4 月 1 日
田原市中央図書館長

大項目		小項目と説明
1 自立を助け、人がつながる機会を提供します	⇒	1－1 地域を元気にします 先人の歴史・文化や風土に関するものから田原の課題に関するものまで、田原の活性化に役立つ資料や情報を、印刷された資料からウェブ上の情報源まで、広く収集、編集、蓄積、提供する。
	⇒	1－2 一人ひとりの自立を支えます すべての利用者の「知る自由」を保障し、生きていく上でのヒントとなるような資料や情報の入手を支援すると同時に、求める資料や情報を使いこなすのに必要な力と習慣を身につける機会を提供することにより、情報格差を縮め、自立した生活を支援する。
	⇒	1－3 人と人のつながりを育みます 知的な関心や問題意識を共有することによる新しい人と人のつながりを育む。
2 読む楽しみ、学ぶ喜びを支えます	⇒	2－1 「読みたい」を刺激します 新鮮な資料を提供するのはもちろん、古い資料も新しい切り口で紹介し、常に「読みたい・見たい・聴きたい・知りたい」という気持ちを刺激し、支える。
	⇒	2－2 学びを支えます さまざまな段階や方法により自ら学ぶための資料や方法を用意し、学びを「始めたい・続けたい」という気持ちを刺激し、支える。
3 子どもの「読む習慣」と「読み解く力」を育みます	⇒	3－1 子どもの「読む習慣」と「読み解く力」を育みます 本を読み続ける楽しさを子どもに伝え、「読む習慣」と「読み解く力」を育むと共に、子どもたちの読む環境を整える役割を果たす保護者や学校、地域を助ける。
4 居心地よく、安心できる場を提供します。	⇒	4－1 居心地のよい場を提供します いつ訪れても快適に利用でき、自分の居場所があると感じることができる環境を整える。
	⇒	4－2 安心できる場を提供します 犯罪、災害、プライバシー侵害などから守られ、安心して利用できる環境を整える。
5 1～4の目標を実現するため、図書館と図書館員の力を活かし、伸ばします。	⇒	5－1 図書館の価値と魅力を伝えます 図書館の価値や魅力を、図書館を使っていない人にも伝え、来館したり、高く評価したりしてもらうためのPRを工夫する。
	⇒	5－2 図書館員の能力と働きがいの向上に努めます 図書館運営と図書館サービスのプロとして、図書館員の能力を高め、だれもが働きがいを感じることができるような環境を整える。
	⇒	5－3 効率的な図書館運営を追求します 資源が乏しい状況でも限られた資源を最大限に活用し、ミスやロスを最小にすることに努める。
	⇒	5－4 図書館の外に利用者や協力者を求めることに努めます 積極的に図書館の外に出て、新しい利用を掘り起こし、館外の協力者の支援を得ることに努める。

目 次

<p>平成 28 年度田原市図書館の目標 -----表紙 2</p> <p>図表索引----- 1</p> <p>1. 平成 27 年度の図書館</p> <p> (1) 平成 27 年度の田原市図書館----- 2</p> <p> (2) 平成 27 年度の中央図書館----- 3</p> <p> (3) 平成 27 年度の赤羽根図書館----- 5</p> <p> (4) 平成 27 年度の渥美図書館----- 6</p> <p> (5) 平成 27 年度の移動図書館----- 9</p> <p> (6) 平成 27 年度の学校図書館支援----- 9</p> <p>2. 田原市と図書館概要</p> <p> (1) 田原市の概要----- 1 0</p> <p> (2) 図書館の歩み----- 1 1</p> <p> (3) 施設概要----- 1 3</p> <p> (4) 事務分掌----- 1 8</p> <p> (5) コンピュータシステム----- 1 8</p> <p> (6) 図書館協議会----- 1 9</p> <p> (7) 予算決算----- 1 9</p>	<p>3. 統計----- 2 0</p> <p>4. 条例・規則等</p> <p> (1) 田原市図書館条例----- 2 5</p> <p> (2) 田原市図書館の 管理運営に関する規則----- 2 5</p> <p> (3) 田原市図書館資料収集方針----- 2 7</p> <p> (4) 田原市図書館資料除籍基準----- 2 8</p> <p> (5) 「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」要約版----- 3 0</p>
---	---

図表索引

番号	タイトル	ページ	番号	タイトル	ページ
1	平成 27 年度の田原市図書館	2	22	館内図 渥美図書館	17
2	5 年間の利用統計（全体）	2	23	コンピュータシステム	18
3	平成 27 年度の中央図書館	3	24	図書館協議会委員	19
4	5 年間の利用統計（中央）	3	25	図書館協議会開催議題	19
5	主要事業（中央）	3	26	平成 27 年度予算・決算及び 平成 28 年度当初予算	19
6	平成 27 年度の赤羽根図書館	5	27	平成 27 年度資料購入費内訳	20
7	5 年間の利用統計（赤羽根）	5	28	地区別登録者数・貸出数・実利 用率	20
8	主要事業（赤羽根）	5	29	年齢別・性別登録者数（累計）	22
9	平成 27 年度の渥美図書館	6	30	年齢別・性別登録者数（新規）	22
10	5 年間の利用統計（渥美）	6	31	年齢別・性別貸出数	22
11	主要事業（渥美）	7	32	館別・資料区分別蔵書点数／ 貸出点数	23
12	平成 27 年度の移動図書館	9	33	予約・リクエスト処理件数	23
13	小中学校等への資料配送状況	9	34	その他利用件数	23
14	田原市の概要	10	35	相互貸借点数	24
15	渥美半島図	10	36	館別資料受入点数	24
16	図書館の歩み	11	37	資料除籍点数	24
17	施設概要 中央図書館	13	38	郵送貸出点数	24
18	施設概要 赤羽根図書館	14	39	図書館協力者一覧	24
19	施設概要 渥美図書館	14			
20	館内図 中央図書館	15			
21	館内図 赤羽根図書館	16			

1. 平成 27 年度の図書館

(1) 平成 27 年度の田原市図書館

平成 27 年度の田原市図書館 (図表 1)

職員構成 (平成 28 年 3 月 31 日現在)		正職員／10 名 (うち育児休業 1 名) 嘱託員／22 名、臨時職員／4 名
蔵書点数 計／488,946 点	図書	435,649 点
	雑誌	33,625 点
	視聴覚	19,672 点
	絵画	156 点
雑誌新聞タイトル数		雑誌／418 タイトル、新聞／24 紙
開館日数		中央 292 日、赤羽根 294 日、渥美 293 日
移動図書館巡回回数		いずみ号 132 回、やしの実号 66 回
リクエスト処理件数		74,119 件
相互貸借件数		貸出：666 点 借受：881 点
予算	当初予算	125,326,000 円 (うち資料費 38,169,000 円)
	補正予算	130,000 円

5 年間の利用統計 (全体) (図表 2)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
貸出点数	948,879	911,398	888,793	879,470	796,063
市内貸出点数	608,426	586,968	571,459	575,753	540,448
利用者数	199,333	187,168	182,476	175,306	164,052
実利用者数	19,692	18,803	18,338	17,428	16,348
入館者数	376,678	353,783	355,844	350,430	341,307
登録者数	51,291	53,390	55,649	57,525	59,721
リクエスト件数	85,476	81,481	79,751	77,056	74,119
蔵書回転率	2.07	1.95	1.86	1.84	1.63
人口	65,944	65,386	65,107	64,382	63,853
貸出密度 (全体)	14.39	13.94	13.67	13.66	12.47
貸出密度 (市内)	9.23	8.98	8.79	8.94	8.46

※蔵書回転率計算式：貸出点数÷蔵書点数

※貸出密度 (全体) 計算式：貸出点数÷田原市人口

※貸出密度 (市内) 計算式：市内貸出点数÷田原市人口

※入館者数は、平成 25 年度までは中央図書館、渥美図書館のみ

※貸出点数・市内貸出点数・利用者数・実利用者数には、団体の利用数を含む

※実利用者数は、登録者数のうち、その年度に貸出した利用者数のこと

(2)平成 27 年度の中央図書館

平成 27 年度の中央図書館 (図表 3)

職員構成 (平成 28 年 3 月 31 日現在)		正職員／8 名 (うち育児休業 1 名) 嘱託員／16 名、臨時職員／2 名	
蔵書点数 計／315,460 点	図書	278,881 点	
	雑誌	24,607 点	
	視聴覚	11,972 点	
	絵画	156 点	
雑誌新聞タイトル数		雑誌／385 タイトル、新聞／24 紙	
開館日数		292 日	

※蔵書点数は移動図書館 (いずみ号) を含む

5 年間の利用統計 (中央) (図表 4)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
貸出点数	781,473	752,010	726,594	711,696	636,806
利用者数	162,607	153,784	149,405	143,167	130,917
入館者数	324,931	307,293	308,862	288,183	272,136
リクエスト処理件数	67,856	64,598	64,909	62,323	58,901
蔵書回転率	2.62	2.48	2.35	2.28	2.02

※貸出点数・利用者数・リクエスト処理件数は移動図書館 (いずみ号) を含む

※貸出点数・利用者数・リクエスト処理件数には、団体の利用数を含む

主要事業 (中央) (図表 5)

事業名	期間等	内容	対象／参加人数	備考
おはなし会	①毎月第 2 水曜日 (10:30～11:00、 11:00～11:30) ②毎月第 3 火曜日 (10:30～11:00) ③毎月第 1 土曜日 (15:00～15:30) ④8/6, 10/24, 12/26, 3/31 ⑤毎月第 3 水曜日 (10:30～11:00、 11:00～11:30) ⑥2/19 ⑦6 月, 7/22～ 8/28, 11 月～2 月 の平日	①ぴよぴよおはなし会 (22 回) 演者：司書 ②こりすの部屋 (11 回) 演者：くぬぎの会 ③おはなしの部屋 (11 回) 演者：くぬぎの会 ④おはなしかい (4 回) 演者：はなっし～ ⑤はらぺこ Mommy's おはなし 会 (20 回) 演者：はらぺこ Mommy's ⑥もぐもぐおはなしかい 主催：農政課 ⑦おはなしタイム	①乳幼児／のべ 428 人 ②乳幼児／のべ 305 人 ③幼児から小学 生／のべ 155 人 ④どなたでも／ のべ 61 人 ⑤どなたでも／ のべ 374 人 ⑥どなたでも／ 23 人 ⑦どなたでも／ のべ 380 人	平均参加人数 ①約 19 人 ②約 28 人 ③約 14 人 ④約 15 人 ⑤約 19 人
ブックスタート	毎月 1 回	ブックスタートパックの内容 絵本 1 冊、イラストアドバイス集、 おすすめ絵本リスト、コットンバ ッグ、図書カード登録用紙など	4 か月児／477 人	
こどもブックフェスタ	4/18～5/6	①特集展示「大地のたんけん」 ②連続おはなし会 (6 回) ③セルフ工作 「ふーふーレース」 ④DVD 上映会 1 「がんばれ五色桜」 2 「14 ひきのびくにつく」 ⑤こぶっクイズ	乳児～小学生／ ②のべ 171 人 ③のべ 103 人 ④のべ 34 人 ⑤113 人 ⑥39 人	②6 回のうち 2 回はボラン ティアくぬぎの 会による

		⑥こぶっくチャレンジ ⑦展示「展示写真展」 ⑧ベストリーダー展示		
かがくあそび 工作教室	①7/29 ②12/24 ③3/25	①かがくあそび 「かっとび！ブーメランをつくろ う！」 ②クリスマス工作 「ヒンメリをつくってかざろう！」 ③工作教室 「かざくるま つくってまわそう！」	小学生／ ①22人 ②21人 ③16人	
図書館探検隊	8/5 ①10：30～ ②14：00～	図書館見学と調べ方の練習	小学3～6年生／ ①8人 ②2人	
回想法講座	8/30	「民俗資料館で楽しもう！みんな で想い出語り」 講師：梅本充子氏（日本福祉大学）	どなたでも／ 16人	
英語多読講演会	9/3	「図書館で英語多読を楽しもう」 講師：西澤一氏（豊田高専）	どなたでも／ 23人	
読書感想画コンクール	募集 9/12～10/12 展示 10/15～11/19 受賞発表 10/18	読書感想画を募集、展示 優秀者には賞状と副賞を授与	幼児～小学生／ 47人	
ふしぎ文学半島プロジ ェクト 2015「愛知の妖怪 大集合！！」	10/12 ①13:00～ ②15:00～ ③17:30～19:00	『妖怪おはなし会「愛知の妖怪大集 合！！」』 ゲスト：あいち妖怪保存会 内容：絵本の読み聞かせ、郷土の怪 談朗読、妖怪についての語り ①絵本『いるのいないの』読み聞か せ、「かっぱのはなし」「ほいほいど り」ほか ②絵本『かがみのなか』読み聞かせ、 「かっぱのはなし」「およしぼうこ ん」ほか ③「田原&豊橋妖怪百物語～高校演 劇ナイトツアー～」 公演：桜丘高等学校演劇部 ゲスト：村田青水氏（薩摩琵琶奏 者）、大原信治氏（死神）、内浦有美 氏（ぱったり堂代表） 内容：妖怪めぐり演劇ナイトツア ー・薩摩琵琶演奏会（村田青水氏）	①15人 ②20人 ③85人	
大学実務訓練	1/8～2/25	・こどもしつ かがくのへやの展示 物作成 ・NDC 占いソフト作成	大学生／ 2人	豊橋技術科学 大学より受入
かがくのお兄さんが やってくる！	2/13	「乾電車～かんでんしゃ～」	小学3～6年生／ 17人	
図書館見学・訪問	随時	①保育園6園7日（6回） ②小学校3校3日（0回） ③児童クラブ等1団体1日（0回） ④一般1団体4日（0回）	①のべ197人 ②のべ80人 ③56人 ④112人	（）は、おはな し会回数
学校訪問	随時	4校、4日 （うち、おはなし会5回・ブックト ーク3回）	小学生／364人	
出張おはなし会	随時	①6園、6日（13回） ②児童センター 1回 ③赤ちゃんサロン 4回 ④ひまわりルーム 1回	①439人 ②26人 ③のべ50人 ④50人	（）は、おはな し会回数
職場体験学習	1日間×1 2日間×1 3日間×5 4日間×1	市内4校 市外4校	11人（うち生徒8 人、教員3人）	同期間に複数 校受入あり

音訳ボランティア 養成講座	毎月第2・4木曜日	①初級：音訳技術の基礎 ②実践：録音図書製作と技術向上 講師：夏目久子氏	①：のべ118人 ②：のべ131人	平均参加人数 ①：約6人 ②：約7人
定期刊行物	①年7回 ②年3回 ③季刊 ④季刊	①ブックリスト『おすすめの本』 ②こどもしつだより『よんでみらん』 ③『みどりの翼』 ④『雑誌のおたより』	①小学生 ②小学生 ③中学～高校生 ④一般	全館で配布 ②は市内小学3年生に配布 ③は市内中学・高校図書室および近隣高校図書室へ送付
元気はいたつ便	①②3か月1回 ※どちらかのサービスを選択 ③月1回（2グループ×12カ月）	高齢者施設13カ所を訪問（年46回） ①元気プログラム 35回 ②グループ回想法 11回 高齢者施設15カ所を巡回（年24回） ③団体貸出巡回施設数のべ76施設	①のべ865人 ②のべ138人 ③貸出1804点 返却1702点	①②ボランティア参加者／のべ49人

（3）平成27年度の赤羽根図書館

平成27年度の赤羽根図書館（図表6）

職員構成（平成28年3月31日現在）		嘱託員／3名
蔵書点数 計／39,090点	図書	33,331点
	雑誌	2,790点
	視聴覚	2,969点
雑誌新聞タイトル数		雑誌／41タイトル、新聞／9紙
開館日数		294日

5年間の利用統計（赤羽根）（図表7）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
貸出点数	36,180	35,029	34,415	35,994	37,590
利用者数	8,950	8,233	8,303	8,877	8,828
入館者数	－	－	－	15,979	17,781
リクエスト処理件数	4,536	4,686	4,213	4,547	3,935
蔵書回転率	1.03	0.99	0.94	0.95	0.96

※貸出点数・利用者数・リクエスト処理件数には、団体の利用数を含む

※入館者数の集計は平成26年度より開始

主要事業（赤羽根）（図表8）

事業名	期間等	内容	対象／参加人数	備考
こどもブックフェスタ	4/18～5/6	①展示「おやこでたのしむ本」 ②親子でこっそり読み聞かせ ③セルフ工作「みんなでこいのぼりをつくってみよう」 ④セルフ工作「おやこ de かぶとをつくろう♪」	②どなたでも／のべ61人 ③どなたでも／のべ31人 ④どなたでも／のべ17人	
おはなし会	①毎月第1土曜日 第3日曜日 ②5/5、12/23 ③3/16	①おはなし会（23回） 読み聞かせと手遊び 演者：赤羽根えほんの会と司書 ②特別おはなし会（2回） 読み聞かせと手遊び 演者：司書	①どなたでも／のべ154人 ②どなたでも／のべ10人 ③どなたでも／のべ34人	

		5/5 テーマ：こどもの日 12/23 テーマ：クリスマス ③はらぺこM o m m y s おはなし会（1回） 英語絵本の読み聞かせ 演者：はらぺこM o m m y s		
セルフ工作	①7/18～8/30 ②10/10～10/31	①「ぬってみよう！」 ②「ハロウィンおりがみでつくりよう♪」	①どなたでも／119人 ②どなたでも／40人	
工作教室	①8/23 ②12/19	①夏休み工作 「紙コップロケットをつくろう！」 ②クリスマス工作 「クリスマスカードをつくろう♪」	①小学生以上／8人 ②どなたでも／6人	
「赤羽根のグルメ&隠れ観光スポットを教えてください！」	募集 11/14～12/27 展示 1/9～2/11	「あの店のコーヒーおいしいよ！、あの場所から見る夕陽は最高！」などなどあなたの情報を教えてください！の募集と展示	どなたでも／13人	
図書館見学・訪問	随時	①児童クラブ等2団体（1回） ②一般1団体3日（0回）	①のべ61人 ②のべ81人	〇は、おはなし会回数
学校訪問	随時	1校、1日	小学生／17人	

（４）平成 27 年度の渥美図書館

平成 27 年度の渥美図書館 （図表 9）

職員構成（平成 28 年 3 月 31 日現在）		正職員／2 名、嘱託員／3 名、臨時職員／2 名
蔵書点数 計／134,396 点	図書	123,437 点
	雑誌	6,228 点
	視聴覚	4,731 点
雑誌新聞タイトル数		雑誌／110 タイトル、新聞／10 紙
開館日数		293 日

※蔵書点数は移動図書館（やしの実号）を含む

5 年間の利用統計（渥美） （図表 10）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
貸出点数	131,226	124,359	127,784	131,780	121,667
利用者数	27,776	25,151	24,768	23,262	24,307
入館者数	51,747	46,490	46,982	46,268	51,390
リクエスト処理件数	13,066	12,197	10,629	10,186	11,283
蔵書回転率	1.05	0.97	0.97	1.02	0.91

※貸出点数・利用者数・リクエスト処理件数は移動図書館（やしの実号）を含む

※貸出点数・利用者数・リクエスト処理件数には、団体の利用数を含む

主要事業（渥美）（図表 11）

事業名	期間等	内容	対象／参加人数	備考
こどもブックフェスタ	①④4/18～5/6 ②4/28 ③4/25、5/2	①展示「動物」の本 ②乳幼児のためのおはなし会 ③おはなし会ラリー（2回） 演者：おはなし手のひらの会、司書 ④図書館クイズ（小学生対象）	乳児～小学生／ ②21人 ③のべ32人 ④のべ97人	
七夕飾り	6/24～7/9	高さ5mの竹に短冊を飾りつけ	どなたでも／ のべ257枚	
ティーンズキャラクター大募集！！	①6/26～8/30 ②10/24～11/15 ③④12/6	①ティーンズのキャラクターイラストを募集 ②ティーンズのキャラクター名称を募集 ③表彰式 キャラクター採用者と名称採用者への表彰及び副賞の贈呈 ④ブックマール テーマ：ティーンズに読んでもらいたい本	①どなたでも、1人何点でも応募可／92点 ②どなたでも、1人何点でも応募可／248点 ③受賞者 デザイン5名 名称1名 ④7人	
古文書講座	①8/2 ②9/6 ③10/4	「畠村萬附留日記」を読む その③ 講師：葉山茂生氏	どなたでも／ ①8人 ②9人 ③6人	
夏休み教室	①8/5～8/7 ②8/9	①図書館の達人になろう！（図書館の仕事体験）一日2人 ②手作り教室ペットボトルで「水族館」を作ろう！	①市内小学 4～6年生／4人 市内中・高校生／1人 ②市内小学生／15人	
図書館まつり	①10/1～11/3 ②③④11/1	①「愛知県」の形を何かに見たててデザインしてもらい展示 ②リサイクル市（一人本・雑誌5冊、英字新聞5日分無料） ③おはなし会 演者：おはなし手のひらの会 ④セルフ工作「紙切っちゃおう！」	どなたでも／ ①115人 ②972部 ③18人 ④302枚	
見てみて「渥美のおすすめスポット」作品展	11/10～12/20	渥美のおすすめスポットを写真、絵または地図で紹介	高校生以上／ 27作品	
クリスマス会	①12/5、12/12 ②12/1～12/27	①連続おはなし会（2回） 演者：おはなし手のひらの会、高校生ボランティア、司書 ②セルフ工作「ぬりえ」を楽しもう！	①どなたでも／ のべ15人 ②どなたでも／ のべ77枚	
文学講座 「歴史・文学探訪」	12/6	「地質・地形から読み解く渥美半島の耕地整理」 講師：藤城信幸氏	どなたでも／ 38人	
大人の手作り教室 エコクラフトで「カゴ」を作ろう！	①1/31 ②2/28	牛乳パックや古紙から再生された紙バンドで、カゴを作る。 ①初級者向け ②中級者向け 講師：北原初代氏	高校生以上／ ①9人 ②9人	
子ども手作り教室 はばたく「鳥」を作ろう	2/14	つばさが動くモビールを作る。	市内の小学生 9人	
杉浦明平氏に関するイベント 「明平さんと崋山」	①3/12 ②2/13～4/6	①「明平さんと崋山」 解説：鈴木利昌氏 ②杉浦明平氏著作本、杉浦明平氏及び渡辺崋山に関する資料展示	どなたでも／ ①19人	
おはなし会	①毎月第1土曜日 ②毎月第2・4土曜日	読み聞かせや手遊び、折り紙遊び（35回） ①演者：高校生ボランティア、司書 ②演者：おはなし手のひらの会	どなたでも／ のべ355人	

学校・児童クラブ等訪問	随時	市内学校、児童クラブ、赤ちゃんサロンでのおはなし会 5 か所、5 日 (7 回)	小学生／195 人 未就園児／65 人	() は、おはなし会回数
保育園訪問	随時	市内保育園でのおはなし会 2 園、4 日 (8 回)	園児／303 人	() は、おはなし会回数
図書館見学・訪問	①～⑥随時	来館の団体への図書館の案内やおはなし会 ①保育園 2 園、3 日 (1 回) ②小学校 2 校、3 日 (0 回) ③中学校 1 校、1 日 (0 回) ④高等学校 1 校、1 日 (0 回) ⑤児童クラブ等 1 クラブ、3 日 (0 回) ⑥一般 3 団体、5 日 (0 回)	①のべ 127 人 ②のべ 34 人 ③のべ 9 人 ④のべ 26 人 ⑤のべ 79 人 ⑥のべ 77 人	() は、おはなし会回数
職場体験学習	4 日間×2	市内 3 校	4 人	
定期刊行物	①毎月 ②毎月	①図書館からのお知らせ 内容：おすすめ本、おはなし会の日程、図書館での企画の紹介 ②きみどりの翼 内容：10 代向けおすすめ本、新着本の紹介	①渥美地区園児等 ②市内全中学校 福江高等学校	

(5) 平成 27 年度の移動図書館

平成 27 年度の移動図書館 (図表 12)

車名／概要	いずみ号／積載数約 3,000 冊 田原地区、赤羽根地区の小学校を巡回	やしの実号／積載数約 3,000 冊 渥美地区の小学校を巡回
巡回場所	12 箇所 童浦小学校／衣笠小学校／南部小学校／ 六連小学校／中部小学校／大草小学校／ 神戸小学校／東部小学校／野田小学校／ 若戸小学校／赤羽根小学校／高松小学校	6 箇所 福江小学校／中山小学校／泉小学校／清田 小学校／亀山小学校／伊良湖岬小学校
巡回数	132 回	66 回
貸出点数	60,330 点	28,295 点
利用者数	4,222 人	1,998 人

(6) 平成 27 年度の学校図書館支援

小中学校等への資料配送状況 (図表 13)

配送方法	田原地区、赤羽根地区の 小中学校等の団体		渥美地区の 小中学校等の団体		総件数と総資料数	
ふくろ便	17 件	104 点	3 件	28 点	20 件	132 点
コンテナ便	4 件	268 点	6 件	89 点	10 件	357 点
移動図書館 巡回時	13 件	449 点	16 件	145 点	29 件	594 点
学校司書来館と コンテナ便併用	0 件	0 点	2 件	45 点	2 件	45 点
学校司書来館	79 件	926 点	96 件	1,232 点	175 件	2,158 点
学校側担当者、 保育士等来館	5 件	59 点	17 件	1,125 点	22 件	1,184 点
計	118 件	1,806 点	140 件	2,664 点	258 件	4,470 点

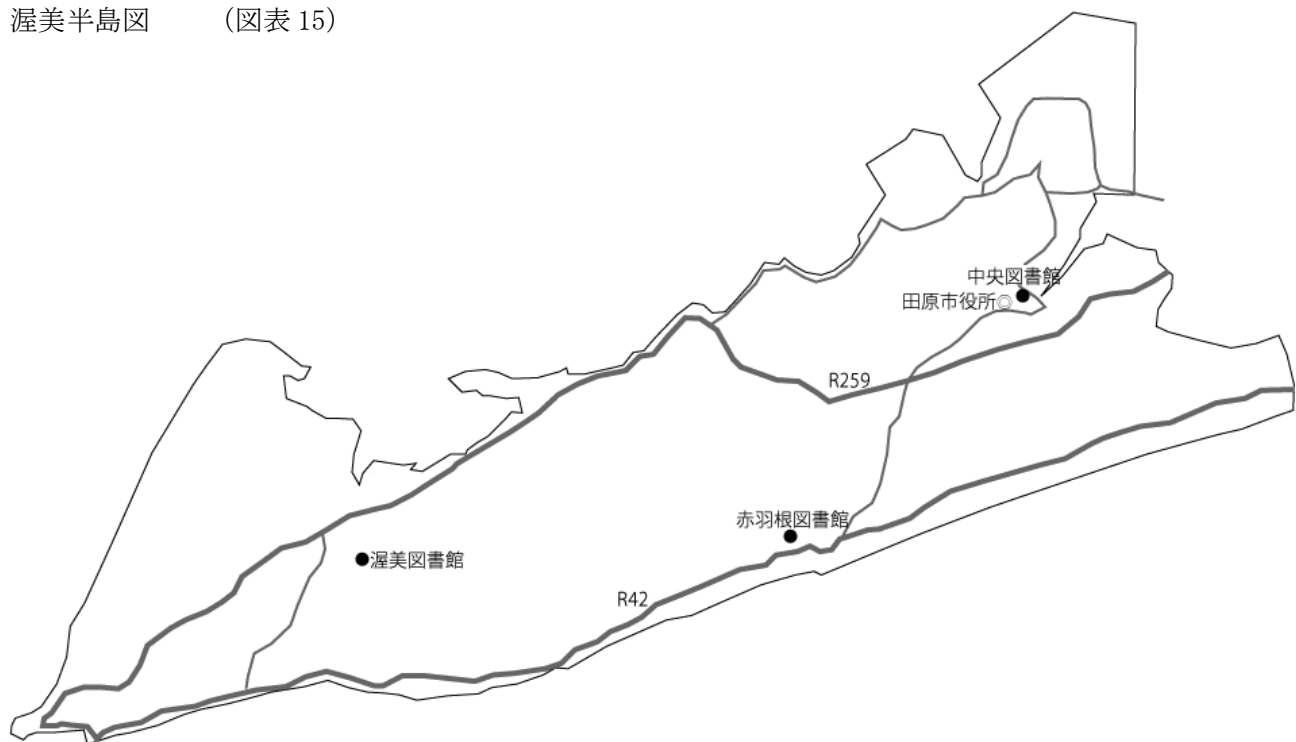
2. 田原市と図書館概要

(1) 田原市の概要

田原市の概要 (図表 14)

行政面積	188.81 平方 km (資料：平成 25 年 10 月 1 日現在国土地理院調べ)	
人口	63,853 人 (平成 28 年 3 月 31 日現在)	
沿革	明治 4 年 明治 5 年 ～明治 22 年 明治 38 年 明治 39 年 昭和 30 年 昭和 33 年 平成 15 年 8 月 20 日 平成 17 年 10 月 1 日	廃藩置県、改置府県で、渥美半島の全村は額田県の所属となる。 愛知県の所属となる。 15 村へと統合が進む。(明治の大合併) 愛知県が町村合併計画を公表。 豊橋市と渥美郡が分離し、田原地域は杉山村、田原町、野田村、神戸村の 4 町村となり、赤羽根地域では赤羽根村が誕生し、渥美地域では、伊良湖岬村、泉村、福江町の 3 町村に再編される。 田原町、野田村、神戸村の合併により田原町が新設。田原町が杉山村(現豊橋市)の一部であった六連地区を編入。伊良湖岬村、泉村、福江町の合併により渥美町が誕生。(昭和の大合併) 赤羽根村が町制を施行して赤羽根町となる。 田原町が赤羽根町を編入合併し、市制施行。田原市となる。 渥美町の編入合併により新「田原市」が誕生。

渥美半島図 (図表 15)



(2)図書館の歩み

図書館の歩み (図表 16)

年月日	出来事
昭和 58 年 11 月 3 日	文化会館図書室 (160 m ²) の開館
昭和 61 年 3 月	第 3 次田原町総合計画 「住民の多様化する学習意欲に対応できる図書館の建設を図る」
平成 3 年	田原中央地区市街地再開発基本設計 再開発ビルの公共スペースの一部に約 1,300 m ² の図書館を建設する
平成 8 年	第 4 次田原町総合計画 「蔵書 10 万冊以上を備えた図書館の整備を促進する」
平成 8 年 11 月	図書館建設構想委員会答申 目標人口 4 万 5 千人、延床面積 4 千 m ² 、蔵書冊数 35 万冊 (開架 15 万、書庫 20 万)、年間購入冊数 2 万 2 千冊、職員 15 名程度
平成 10 年 3 月	田原町図書館及び生涯学習施設建設基本計画
平成 11 年 6 月	生涯学習センター建設準備室設置
平成 12 年 9 月	図書館建設着工
平成 13 年 7 月 31 日	文化会館図書室の閉館
平成 13 年 9 月	移動図書館「いずみ号」巡回開始
平成 14 年 3 月 15 日	図書館竣工
平成 14 年 8 月 2 日	田原町図書館開館
平成 15 年 8 月 20 日	田原町・赤羽根町の合併に伴い、田原市中央図書館、田原市赤羽根図書館 (分館) と改称
平成 15 年 9 月	移動図書館「いずみ号」赤羽根地区 3 小学校への巡回開始
平成 15 年 9 月 30 日	田原市赤羽根図書館システム統合のため休館
平成 15 年 12 月 2 日	田原市赤羽根図書館再開
平成 16 年 4 月 1 日	視聴覚資料の貸出規則変更 (4 点 3 週間) 休館日規則 国民の休日を閉館とする
平成 16 年 11 月 1 日	「田原市子ども読書活動推進計画」策定
平成 17 年 10 月 1 日	田原市・渥美町の合併に伴い、田原市渥美図書館と改称 田原市渥美図書館システム統合のため休館
平成 17 年 10 月	移動図書館「やしの実号」渥美地区 8 小学校への巡回開始
平成 17 年 12 月 1 日	田原市渥美図書館再開
平成 18 年 8 月 3 日	中央図書館開館時間延長の試行開始 (木曜日午後 8 時まで)
平成 19 年 10 月 2 日～5 日	図書館システム更新のため休館
平成 20 年 7 月 1 日	中央図書館無線 LAN サービス開始
平成 20 年 9 月	中央図書館英語多読コーナー設置
平成 22 年 3 月	移動図書館「やしの実号」更新
平成 22 年 4 月 1 月	「田原市子ども読書活動推進計画」(第 2 次)
平成 22 年 7 月 7 日～9 月 9 日	「再発見! 鳥羽⇄伊良湖フェリー展」開催
平成 23 年 4 月 1 日	「田原市図書館の目標」制定
平成 23 年 6 月 25 日	中央図書館こどもしつ「かがくのへや」オープン

平成 23 年 8 月	「元気はいたつ便」試行開始
平成 24 年 4 月	全館無線 LAN サービス
平成 24 年 8 月 2 日	中央図書館開館 10 周年
平成 24 年 9 月	iPad 貸出サービス開始
平成24年10月30日～11月2日	図書館システム更新のため休館
平成 24 年 11 月 3 日	「泉名月記念ふしぎ図書館」（新コーナー）開設 ふしぎ文学半島プロジェクト
平成 24 年 11 月 3 日	赤羽根図書館開館 20 周年
平成 25 年 2 月 21 日	電子書籍「お散歩 e 本」刊行
平成 25 年 8 月 2 日	田原市図書館 T w i t t e r 公式アカウント運用開始
平成 25 年 11 月 16 日～17 日	「まちほん」田原まちじゅう本想い開催
平成 26 年 3 月 5 日	電子書籍「お散歩 e 本 ふしぎ編」刊行
平成 26 年 6 月 9 日	渥美図書館開館 20 周年
平成 26 年 12 月 16 日～27 日	渥美図書館リニューアルのため休館
平成 27 年 1 月 6 日	渥美図書館リニューアルオープン 書架サイン更新、ティーンズコーナー・学習室等 2 階の整備、リフレッシュコーナー新設、授乳室移設等、3 階集密書架増設
平成 27 年 2 月 1 日	田原市図書館 F a c e b o o k 公式ページ運用開始
平成 27 年 7 月 1 日	「元気はいたつ便」本格実施
平成 27 年 8 月	「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」策定
平成 27 年 10 月 24 日	ティーンズキャラクター決定
平成 27 年 11 月 28 日	ティーンズキャラクター名決定
平成 27 年 12 月 1 日	学校図書館支援センター物流部門「コンテナ便」「ふくろ便」試行開始
平成 28 年 2 月 27 日	「元気はいたつ便」が「認知症の私と輝く」大賞受賞

(3)施設概要

中央図書館

豊橋鉄道三河田原駅から、徒歩 15 分の距離にあり、また市営の巡回バスが駅をはじめとした市内各所から図書館までを結んでおり、交通は便利である。近くにはショッピングセンターや大規模な市営住宅があり、人の集まる場所に位置している。田原文化会館・総合体育館・情報センターとの複合施設であり、各種施設の利用を兼ねて図書館へ来館する利用者も多く見られる。

(図表 17)

所 在 地	愛知県田原市田原町汐見 5 番地	
開 館	平成 14 年 8 月 2 日	
構 造	鉄筋コンクリート構造 SRC 造一部 S 造 3 階建	
敷 地 面 積	29,726.89 m ² (田原文化会館ほか含む)	
建 築 面 積	11,386.12 m ² (田原文化会館ほか含む)	
延 床 面 積	15,109.75 m ² (田原文化会館ほか含む) うち図書館部分 3,972 m ²	
駐 車 場	303 台 (田原文化会館ほかと共用)	
駐 輪 場	145 台 (田原文化会館ほかと共用)	
蔵 書 能 力	35 万冊 (開架 13 万冊、開架書庫 7 万冊、閉架書庫 13 万冊、BM 書庫 2 万冊)	
建 設 費	図 書 館 資 料 収 集 費	2 億 4,210 万円
	設 計 及 び 管 理 委 託 費	7,892 万円
	工 事 費	14 億 4,893 万円
	家 具 設 置	1 億 7,923 万円
	備 品 費 ・ 消 耗 品 費	2,835 万円
	合 計	19 億 7,753 万円

赤羽根図書館

赤羽根文化会館の2階に併設され、一般室とこどもしつに分かれている。交通は、豊鉄バス伊良湖支線「赤羽根市民センター前」下車。

(図表 18)

所 在 地	愛知県田原市赤羽根町赤土1番地
開 館	平成4年11月3日
構 造	鉄筋コンクリート構造 2階建
延 床 面 積	341 m ² (図書館部分)
蔵 書 能 力	3万冊

渥美図書館

渥美文化会館と併設し、一般室、こどもしつのある1階と学習室とティーンズコーナーのある2階とに分かれる。交通は、豊鉄バス伊良湖本線「福江」下車、徒歩10分。

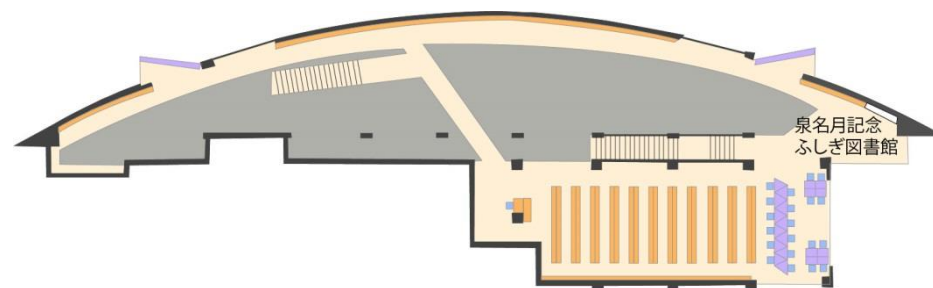
(図表 19)

所 在 地	愛知県田原市古田町岡ノ越6番地4
開 館	平成6年6月9日
構 造	鉄筋コンクリート構造 3階建
延 床 面 積	1,693 m ² (図書館部分)
蔵 書 能 力	16万冊

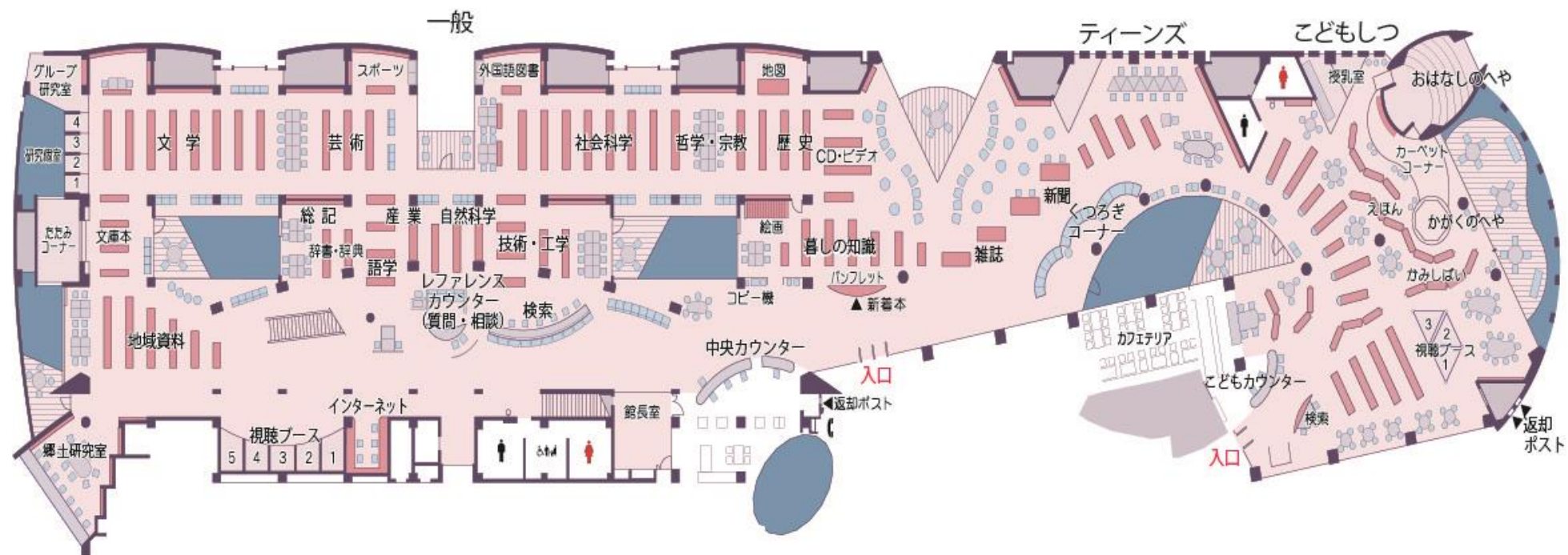
館内図 中央図書館

(図表 20)

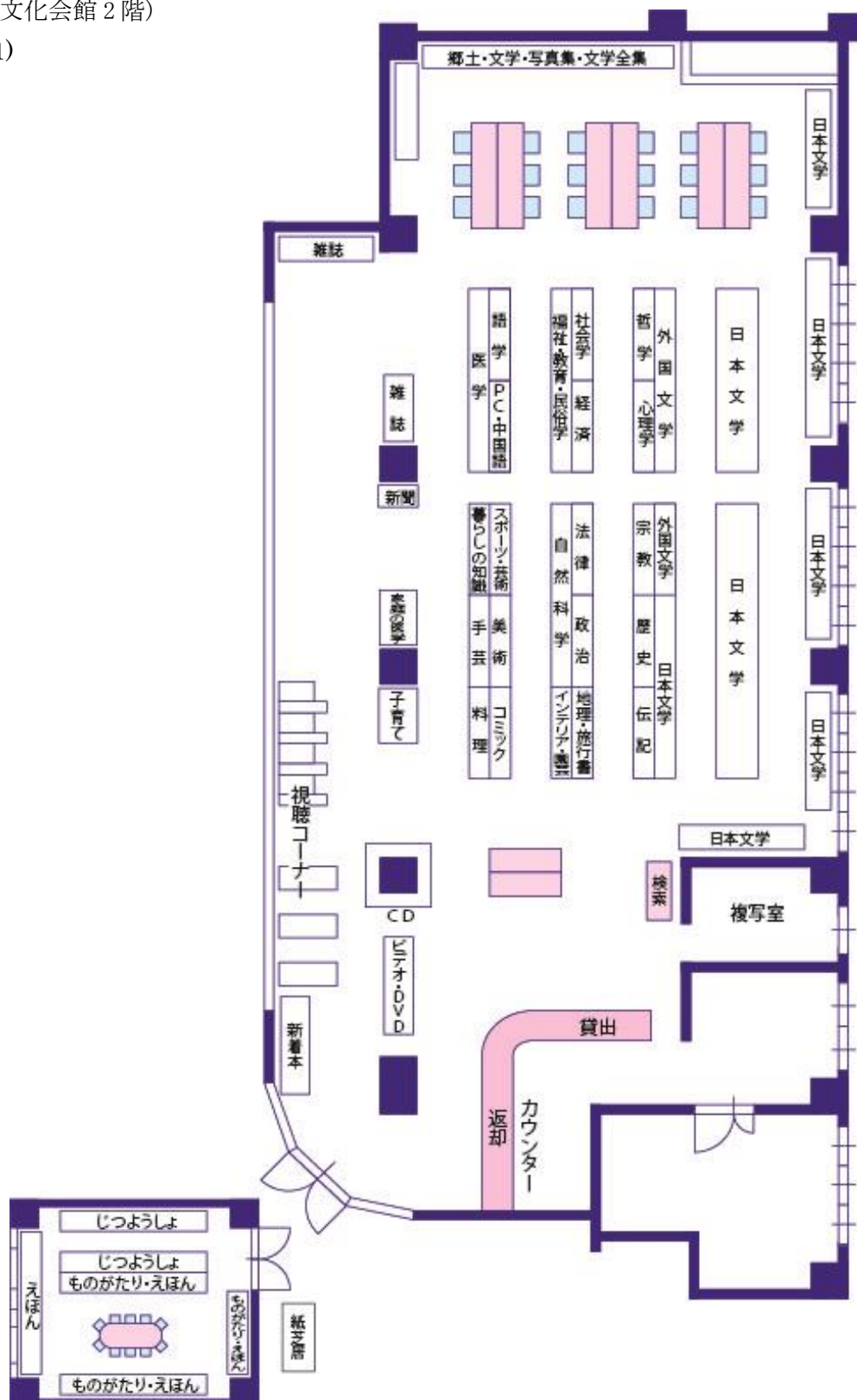
2階 開架書庫



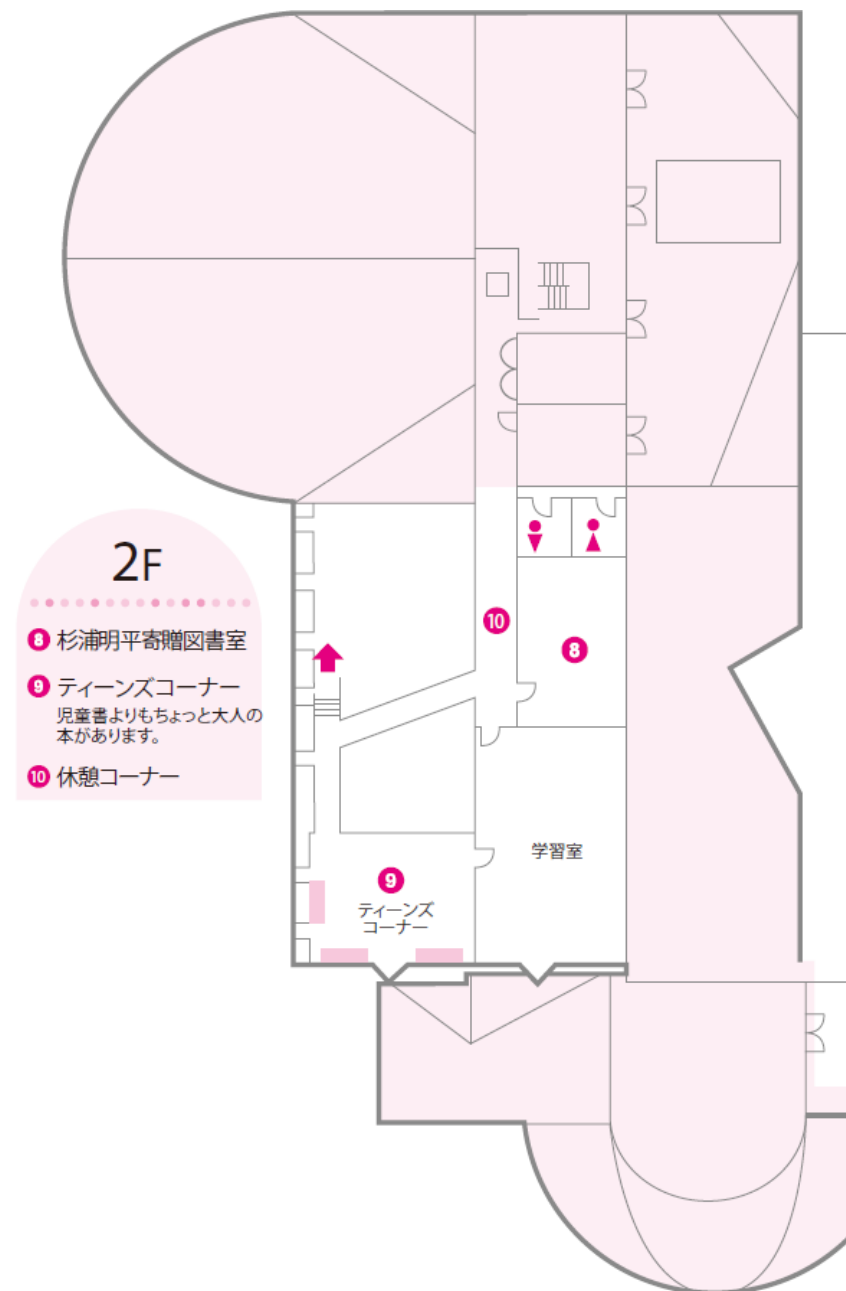
1階 開架



館内図 赤羽根図書館
(赤羽根文化会館 2 階)
(図表 21)



(図表 22)



(4) 事務分掌（田原市教育委員会事務局組織及び職員の設置等に関する規則第 11 条第 11 項）

- (1) 図書館運営の企画調整に関すること。
- (2) 図書館の施設及び設備の管理に関すること。
- (3) 図書館資料の収集整理、利用及び保存に関すること。
- (4) 読書案内及び参考相談業務に関すること。
- (5) 移動図書館及び団体貸出しに関すること。
- (6) 講演会、資料展示会その他の行事の開催に関すること。
- (7) 前各号に定めるもののほか、図書館及び読書の振興に関すること。

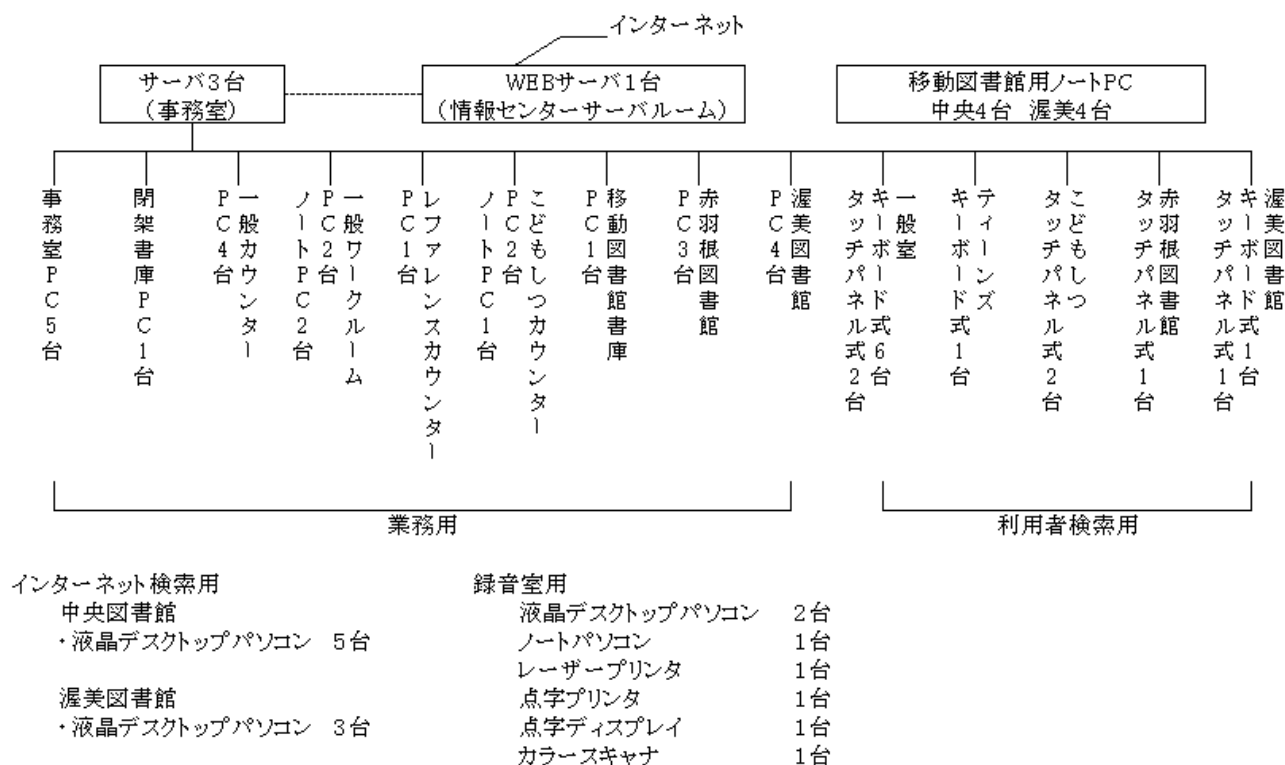
(5) コンピュータシステム

当館では図書館開設準備期間よりコンピュータシステムを導入した。

開館に伴い、利用者検索用端末（OPAC）、及びインターネット検索用端末・CD-ROM検索端末、障害者サービス用端末を新たに設置し、また業務用端末を増設した。

(図表 23)

更新年月日	ソフトウェア・サーバ
平成 13 年 6 月	富士通 i L I S w i n g / N X ・サーバ、業務用 3 台
平成 14 年 6 月	開館に伴う、業務用端末増設、OPAC・WEBサーバ等新設
平成 15 年 10 月	赤羽根町との合併に伴う、業務用端末増設、OPAC新設
平成 17 年 10 月	渥美町との合併に伴う、業務サーバ移行
平成 19 年 10 月	新図書館システム京セラ丸善 E L C I E L O へ移行
平成 24 年 11 月	京セラ丸善 E L C I E L O の新バージョンへ移行



(6) 図書館協議会

図書館協議会委員 (図表 24)

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	氏名	分野	任期
1	白谷 厚	学校教育	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
2	春日 晴美	学校教育	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
3	中島 慶子	学識経験者	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
4	別所 興一	学識経験者	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
5	一ツ田 正和	学識経験者	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
6	内浦 有美	学識経験者	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
7	小澤 美穂子	社会教育	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
8	北原 初代	家庭教育	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日
9	永田 みよ江	公募委員	平成 26 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日

図書館協議会開催議題 (図表 25)

	開催日	議題
第 1 回	平成 27 年 8 月 5 日	平成 26 年度の事業報告について
		まち＊ほん田原市生涯読書振興計画について
		公共施設適正化計画について
第 2 回	平成 27 年 10 月 30 日	公共施設適正化計画について
第 3 回	平成 28 年 3 月 23 日	平成 28 年度の事業計画と目標について

(7) 予算決算

平成 27 年度予算・決算及び平成 28 年度当初予算 (図表 26) (※1)

(単位：円)

	27 当初予算額	補正及び 流用額	予算現額	決算額	28 当初予算額
1 報酬	52,400,000	0	52,400,000	52,379,177	52,400,000
4 共済費	0	0	0	0	0
7 賃金	5,012,000	177,000	5,189,000	5,188,845	4,744,000
8 報償費	690,000	△166,000	524,000	523,651	690,000
9 旅費	879,000	△11,000	868,000	773,730	536,000
11 需用費	46,534,000	△3,000	46,531,000	46,056,003	76,228,000
12 役務費	957,000	0	957,000	828,258	1,512,000
13 委託料	7,257,000	0	7,257,000	6,690,947	9,060,000
14 使用料及び賃借料	6,968,000	0	6,968,000	6,846,544	6,835,000
15 工事請負費	2,629,000	0	2,629,000	2,427,600	0
18 備品購入費	1,726,000	133,000	1,859,000	1,857,769	611,000
19 負担金及び交付金	224,000	0	224,000	217,700	121,000
27 公課費	50,000	0	50,000	49,200	108,000
合計	125,326,000	130,000	125,456,000	123,839,424	152,845,000

※1 正職員給与は含まず

平成 27 年度資料購入費内訳 (図表 27)

種別	決算額	購入受入数	備考	28 年度予算
図書	28,410,706	17,776		26,975,000
雑誌・新聞	6,965,296	6,672	新聞 24 紙 雑誌 418 誌	7,330,000
視聴覚	2,806,648	660	ハンディキャップ [®] 用 録音図書を含む	2,642,000
合計	38,182,650	25,108		36,947,000

3. 統計

(1) 地区別登録者数・貸出数・実利用率 (平成 28 年 3 月 31 日現在) (図表 28)

	地区	人口	登録者数	登録 団体	実利用 者数	実利用者 数÷登録 者数 (%)	実利用者 数÷人口 (%)	貸出点数	H27 年度 貸出密度	H26 年度 貸出密度
01	六連町	1,706	896	14	260	29.0%	15.2%	16,631	9.75	9.10
02	谷熊町	659	392	2	145	37.0%	22.0%	6,114	9.28	10.07
03	豊島町	1,995	1,218	26	417	34.2%	20.9%	22,209	11.13	13.12
04	吉胡町	1,004	1,061	2	191	18.0%	19.0%	6,303	6.28	7.05
05	浦町	2,617	3,333	21	467	14.0%	17.8%	22,872	8.74	10.14
06	波瀬町	374	202	0	47	23.3%	12.6%	1,110	2.97	3.02
07	片浜町	204	230	1	43	18.7%	21.1%	1,413	6.93	6.88
08	白谷町	255	136	0	33	24.3%	12.9%	1,269	4.98	3.70
09	加治町	1,775	1,016	14	327	32.2%	18.4%	14,948	8.42	9.37
10	大久保町	1,648	829	1	298	35.9%	18.1%	14,383	8.73	6.92
11	田原町	10,014	7,941	82	2,341	29.5%	23.4%	107,275	10.71	11.60
12	神戸町	3,624	2,461	34	736	29.9%	20.3%	35,391	9.77	9.74
13	西神戸町	983	565	1	147	26.0%	15.0%	5,230	5.32	5.77
14	大草町	1,294	771	11	272	35.3%	21.0%	11,282	8.72	8.88
15	南神戸町	691	341	1	81	23.8%	11.7%	3,731	5.40	4.89
16	東神戸町	307	176	0	39	22.2%	12.7%	2,054	6.69	5.86
17	芦町	203	105	0	31	29.5%	15.3%	1,952	9.62	9.67
18	野田町	2,203	1,233	11	352	28.5%	16.0%	17,316	7.86	8.83
19	仁崎町	361	179	1	56	31.3%	15.5%	1,829	5.07	5.06
20	緑が浜	0	7	0	1	14.3%	—	0	—	—
21	白浜	0	0	0	0	—	—	0	—	—
22	姫見台	391	246	0	41	16.7%	10.5%	1,151	2.94	3.43
23	ほると台	441	375	0	83	22.1%	18.8%	2,972	6.74	6.64
24	白磯	0	0	0	0	—	—	0	—	—
25	赤石	907	683	2	184	26.9%	20.3%	7,743	8.54	8.00
26	東赤石	971	746	1	188	25.2%	19.4%	8,538	8.79	8.48
27	やぐま台	769	566	0	200	35.3%	26.0%	8,256	10.74	10.79
28	光崎	1,028	619	0	219	35.4%	21.3%	5,387	5.24	5.30
29	吉胡台	441	348	0	117	33.6%	26.5%	3,674	8.33	8.69
30	相川町	173	107	0	29	27.1%	16.8%	833	4.82	6.48
31	片西	630	257	0	91	35.4%	14.4%	2,734	4.34	4.52
32	御殿山	432	259	0	149	57.5%	34.5%	4,924	11.40	10.53

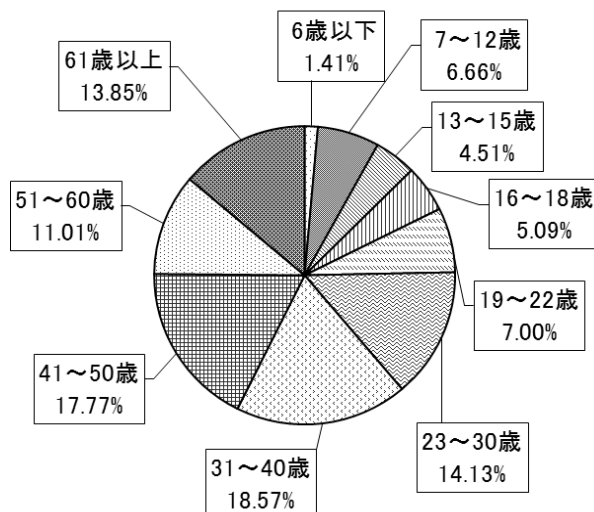
	地区	人口	登録者数	登録 団体	実利用 者数	実利用者 数÷登録 者数(%)	実利用者 数÷人口 (%)	貸出点数	H27 年度 貸出密度	H26 年度 貸出密度
33	赤羽根町	2,413	1,431	19	457	31.9%	18.9%	24,403	10.11	12.26
34	越戸町	410	202	0	70	34.7%	17.1%	2,953	7.20	8.16
35	高松町	1,558	819	14	262	32.0%	16.8%	14,210	9.12	9.37
36	若見町	837	351	11	133	37.9%	15.9%	10,981	13.12	10.54
37	池尻町	528	239	0	70	29.3%	13.3%	2,933	5.55	5.72
38	伊川津町	628	281	0	93	33.1%	14.8%	3,737	5.95	4.34
39	石神町	378	152	1	57	37.5%	15.1%	2,710	7.17	5.72
40	伊良湖町	477	203	0	73	36.0%	15.3%	3,613	7.57	10.78
41	宇津江町	281	113	0	37	32.7%	13.2%	1,478	5.26	5.49
42	江比間町	1,261	597	19	190	31.8%	15.1%	12,631	10.02	12.51
43	亀山町	574	263	8	97	36.9%	16.9%	5,683	9.90	13.82
44	小塩津町	645	282	10	132	46.8%	20.5%	5,812	9.01	6.04
45	古田町	1,174	583	14	197	33.8%	16.8%	11,752	10.01	11.05
46	高木町	487	236	0	65	27.5%	13.3%	2,141	4.40	4.08
47	中山町	2,404	1,037	15	361	34.8%	15.0%	20,906	8.70	10.31
48	八王子町	434	170	0	51	30.0%	11.8%	1,821	4.20	5.04
49	馬伏町	129	53	0	19	35.8%	14.7%	681	5.28	3.80
50	日出町	354	160	0	58	36.3%	16.4%	2,740	7.74	9.45
51	福江町	2,299	1,124	17	402	35.8%	17.5%	19,173	8.34	9.20
52	保美町	1,487	760	4	269	35.4%	18.1%	10,038	6.75	6.93
53	堀切町	1,316	594	0	184	31.0%	14.0%	6,873	5.22	8.37
54	向山町	250	88	0	24	27.3%	9.6%	1,126	4.50	2.75
55	村松町	331	138	0	37	26.8%	11.2%	2,533	7.65	4.19
56	山田町	168	86	0	23	26.7%	13.7%	891	5.30	3.78
57	夕陽が浜	256	154	0	47	30.5%	18.4%	1,333	5.21	5.59
58	和地町	1,271	557	9	200	35.9%	15.7%	13,534	10.65	8.75
59	折立町	464	177	1	58	32.8%	12.5%	3,082	6.64	5.15
60	長沢町	149	57	0	13	22.8%	8.7%	215	1.44	1.46
61	小中山町	2,214	786	3	225	28.6%	10.2%	8,830	3.99	3.57
62	西山町	576	251	0	85	33.9%	14.8%	2,111	3.66	4.45
	田原市	63,853	39,242	370	11,574	29.5%	18.1%	540,448	8.46	8.94
63	豊橋市		17,835		4,376	24.5%		241,003		
64	その他		2,138	136	398	18.6%		14,612		
	合計		59,215	506	16,348	27.6%		796,063		

※実利用者数とは、登録者数のうち平成 27 年度に貸出した利用者数のこと

※貸出密度＝貸出点数÷人口

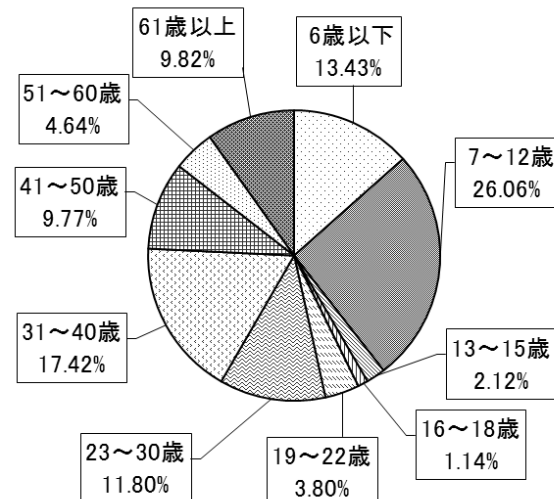
(2) 年齢別・性別登録者数 (累計) (図表 29)

	男性	女性	計
6 歳以下	404	429	833
7～12 歳	2,008	1,934	3,942
13～15 歳	1,349	1,322	2,671
16～18 歳	1,440	1,577	3,017
19～22 歳	2,002	2,146	4,148
23～30 歳	3,676	4,692	8,368
31～40 歳	4,821	6,176	10,997
41～50 歳	4,094	6,427	10,521
51～60 歳	2,765	3,752	6,517
61 歳以上	3,780	4,421	8,201
個人計	26,339	32,876	59,215
団体計	506		506
合計	-	-	59,721



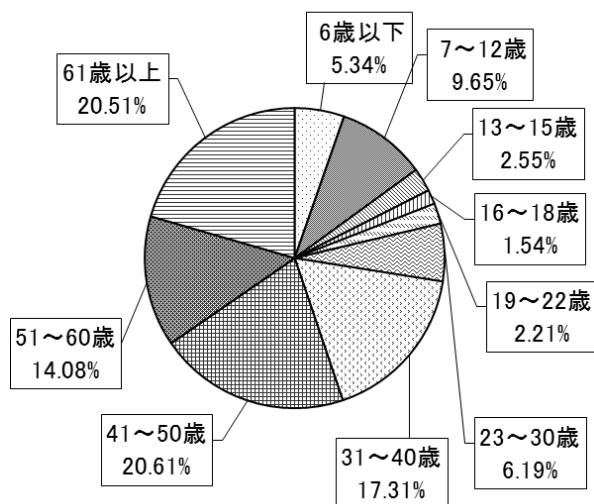
(3) 年齢別・性別登録者数 (新規) (図表 30)

	男性	女性	計
6 歳以下	135	137	272
7～12 歳	274	254	528
13～15 歳	27	16	43
16～18 歳	8	15	23
19～22 歳	28	49	77
23～30 歳	102	137	239
31～40 歳	150	203	353
41～50 歳	102	96	198
51～60 歳	45	49	94
61 歳以上	104	95	199
個人計	975	1,051	2,026
団体計	31		31
合計	-	-	2,057



(4) 年齢別・性別貸出数 (図表 31)

	男性	女性	合計
6 歳以下	18,696	18,417	37,113
7～12 歳	26,234	40,765	66,999
13～15 歳	6,655	11,060	17,715
16～18 歳	3,999	6,730	10,729
19～22 歳	5,471	9,901	15,372
23～30 歳	11,752	31,257	43,009
31～40 歳	28,525	91,703	120,228
41～50 歳	47,259	95,863	143,122
51～60 歳	36,624	61,166	97,790
61 歳以上	69,252	73,152	142,404
個人計	254,467	440,014	694,481
団体	101,582		101,582
合計	-	-	796,063



(5)館別・資料区分別蔵書点数／貸出点数 (図表 32)

		中央図書館	赤羽根図書館	渥美図書館	全館合計
蔵書点数	一般	188,388	22,556	75,891	286,835
	児童	65,591	9,489	40,996	116,076
	ティーンズ	8,790	9	2,101	10,900
	参考	3,974	7	183	4,164
	郷土	6,822	754	3,373	10,949
	多言語	5,316	516	893	6,725
	雑誌	24,607	2,790	6,228	33,625
	視聴覚	11,972	2,969	4,731	19,672
	絵画	156	0	0	156
	合計	315,460	39,090	134,396	488,946
	平成 25 年度	309,520	36,738	131,785	478,043
	平成 26 年度	312,155	37,841	129,281	479,277
貸出点数	一般	351,366	18,794	48,100	418,260
	児童	157,116	11,617	54,414	223,147
	ティーンズ	16,329	264	2,218	18,811
	参考	25	0	1	26
	郷土	1,396	148	353	1,897
	多言語	4,600	186	113	4,899
	雑誌	41,156	2,149	7,777	51,082
	視聴覚	64,818	4,432	8,691	77,941
	絵画	440	0	0	440
	合計	636,806	37,590	121,667	796,063
	平成 25 年度	726,594	34,415	127,784	888,793
	平成 26 年度	711,696	35,994	131,780	879,470

(6)予約・リクエスト処理件数 (図表 33)

中 央 件 数	一 般	児 童	雑 誌	視聴覚	絵 画	キャンセル	期限切	提供不能
合 計	43,114	4,914	3,163	7,683	27	333	3,244	12
	58,901							

赤羽根 件 数	一 般	児 童	雑 誌	視聴覚	絵 画	キャンセル	期限切	提供不能
合 計	2,693	591	96	555	0	27	105	1
	3,935							

渥 美 件 数	一 般	児 童	雑 誌	視聴覚	絵 画	キャンセル	期限切	提供不能
合 計	7,952	1,485	503	1,343	0	102	467	0
	11,283							

全 館 合 計	一 般	児 童	雑 誌	視聴覚	絵 画	キャンセル	期限切	提供不能
総合計	53,759	6,990	3,762	9,581	27	462	3,816	13
	74,119							

※キャンセル、期限切、提供不能は内数

(7)その他利用件数 (図表 34)

	中 央	赤羽根	渥 美	全 館
自動貸出機 (冊数)	6,876	-	-	6,876
コピー件数	563	28	66	657
視聴ブース	1,806	424	2,141	4,371
インターネット	6,709	-	2,177	8,886
i P a d	266	546	310	1,122
研究室 (個室・グループ)	1,904	-	-	1,904

(8)相互貸借点数 (図表 35)

	愛知県	名古屋市	尾張地区	三河地区	県外自治体	国会図書館	大学図書館	合計
貸出	18	149	173	179	143	0	4	666
借受	298	62	87	356	74	1	3	881

(9)館別資料受入点数 (図表 36)

	中 央	赤羽根	渥 美	全 館
図 書	12,079	1,631	6,065	19,775
雑 誌	4,866	555	1,392	6,813
視聴覚	544	67	127	738
合 計	17,489	2,253	7,584	27,326

(10)資料除籍点数 (図表 37)

	汚破損	廃棄	不明	保存期限切	紛失	長期延滞	合計
図 書	677	10,080	144	0	-1	18	10,918
雑 誌	3	2	22	6,343	0	0	6,370
視聴覚	49	309	6	0	0	5	369
合 計	729	10,391	172	6,343	-1	23	17,657

(11)郵送貸出点数 (図表 38)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
貸出点数	266	373	393	333	445
うち借受点数	124	314	292	255	310

(12)図書館協力者一覧 (図表 39) (平成 28 年 3 月 31 日現在)

名称	登録者数	活動場所	活動内容	備考
図書館フレンズ田原	8 人(※)	中央図書館	リサイクル・ブック・オフィスの運営	(※)所属グループリーダー人数
くぬぎの会	26 人	中央図書館	おはなし会の開催	
赤羽根えほんの会	6 人	赤羽根図書館	おはなし会の開催	
おはなし手のひらの会	11 人	渥美図書館	おはなし会の開催	
福江高校読み聞かせボランティア	8 人	渥美図書館	おはなし会の開催	メンバーは県立福江高等学校生徒
ブックスタートボランティア	13 人	田原福祉センター	ブックスタート事業の協力	
サニー・スポット	16 人	中央図書館	録音図書の作成	
田原市図書館サポーターズ おおきなかぶ (H24.4 発足 イベントボランティアから移行)	75 人	イベント会場 中央図書館	イベント運営協力(多読講演会・工作教室等)かぶ会議	
元気はいたつ便訪問サービスボランティア	8 人	田原市内 高齢者福祉施設	訪問サービスの協力(グループ回想法・レクリエーションの実施)	H26.6～活動開始
はなっし〜	7 人	中央図書館	ストーリーテリング	
はらぺこ Mommy's	5 人	中央図書館	英語のおはなし会の開催	

4. 条例・規則等

(1) 田原市図書館条例

平成 14 年 3 月 25 日
条例第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号。以下「法」という。)第 10 条及び第 16 条の規定に基づき、田原市図書館(以下「図書館」という。)の設置等について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 市民の資料や情報に対する要求にこたえ、自由で公平な資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の文化、教養、調査、研究、レクリエーション等の生涯にわたる学習活動を積極的に援助し、かつ、人々の交流とコミュニティ活動の推進に寄与するため、図書館を設置する。

2 図書館は、中央館及び分館によって構成し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

区分	名称	位置
中央館	中央図書館	田原市田原町汐見 5 番地
分館	赤羽根図書館	田原市赤羽根町赤土 1 番地
	渥美図書館	田原市古田町岡ノ越 6 番地 4

(職員)

第 3 条 図書館に館長、司書その他必要な職員を置く。

2 館長は、図書館奉仕の機能を達成するため、法第 5 条第 1 項に定める司書となる資格を有する者その他の図書館奉仕に関し学識経験のある者のうちから田原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命する。
(利用者の秘密を守る義務)

第 4 条 図書館は、利用者の読書事実、利用事実その他図書館が業務上知り得た利用者個人又は団体に関する情報を他に漏らしてはならない。

(納本制度)

第 5 条 市の機関が、刊行物その他の資料を発行したときは、図書館の求めに応じ、その刊行物等無償で図書館に納入するものとする。

(損害賠償)

第 6 条 利用者が故意又は過失によって図書館の設備、図書その他資料等をき損し、滅失し、紛失し、又は著しく汚損したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(図書館協議会)

第 7 条 法第 14 条第 1 項の規定に基づき、図書館に田原市図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから教育委員会が任命する。

3 委員の定数は 10 人以内とする。

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残

任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。
(委任)

第 8 条 この条例に定めるもののほか、図書館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 14 年 8 月 2 日から施行する。

(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 36 年田原町条例第 17 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年 8 月 20 日条例第 62 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 17 年 9 月 22 日条例第 105 号)

この条例は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 27 日条例第 14 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 田原市図書館の管理運営に関する規則

平成 14 年 3 月 25 日
教委規則第 10 号

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、田原市図書館条例(平成 14 年田原町条例第 4 号。以下「条例」という。)第 8 条の規定に基づき、田原市図書館(以下「図書館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

第 2 章 図書館奉仕

第 1 節 通則

(事業)

第 2 条 図書館は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号。以下「法」という。)第 3 条の規定により、次の事業を行う。

(1) 図書館資料(法第 3 条第 1 号に掲げる図書館資料をいう。以下同じ。)の収集、整理及び保存

(2) 図書館資料の貸出し

(3) 読書案内及び参考相談

(4) 移動図書館の運営

(5) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催及び奨励

(6) 館報その他の読書資料の発行及び頒布

(7) 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供

(8) 学校図書館、博物館、公民館等との連絡提携

(9) 図書館資料の図書館間相互貸借

(10) その他図書館の目的達成のために必要な事業
(開館時間)

第 3 条 中央図書館及び渥美図書館の開館時間は、午前 10 時から午後 7 時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178

号)に規定する休日については、午前 10 時から午後 5 時までとする。

2 赤羽根図書館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとする。

3 田原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めたときは、臨時に前 2 項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 4 条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。))が月曜日に当たるときは、その翌日)

(2) 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日までの日

(3) 館内整理日 毎月第 2 金曜日(休日を除く。)

(4) 特別整理期間 毎年 10 日以内に教育委員会の定める日

(利用者の遵守事項)

第 5 条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 館内で他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (2) 所定の場所以外では飲食及び喫煙をしないこと。
- (3) 職員の指示に従うこと。

(利用の制限)

第 6 条 教育委員会は、この規則の規定及び館長の指示に従わなかった者に対し、図書館の施設若しくは機器又は図書館資料の利用を一時停止し、又は禁止することができる。

第 2 節 個人貸出し

(利用登録及び貸出手続)

第 7 条 図書館資料の貸出しを受けることを希望する者は、氏名、住所等を確認することができる証明書等を提示し、利用申込書(様式第 1 号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、利用申込書の内容を証明書等によって確認の上、田原市図書館利用カード(様式第 2 号。以下「利用カード」という。)を交付する。

3 図書館資料の貸出しを受ける場合には、利用カードを提示しなければならない。

(利用カードの紛失等)

第 8 条 利用カードを紛失したとき、又は利用申込書に記載した内容に変更が生じたときは、速やかに教育委員会に届け出なければならない。

2 教育委員会は、前項の届出のあった利用カードを紛失した者に田原市図書館利用(仮)カード(様式第 3 号。以下「仮カード」という。)を交付し、紛失が確定したときは、仮カードと引替えに利用カードの再発行を行うものとする。

(貸出しの点数及び期間)

第 9 条 図書館資料の貸出点数及び期間は、次のとおりとする。

資料区分	貸出点数	貸出期間	備考
------	------	------	----

図書	10 点以内	3 週間以内	図書、雑誌、紙芝居等
視聴覚資料	4 点以内	3 週間以内	ビデオテープ、コンパクトディスク等
絵画	2 点以内	4 週間以内	複製絵画等

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、貸出点数及び貸出期間を別に指定することができる。

3 貸出期間の延長は、貸出期間内に申出のあった者に対し、他の利用を妨げない限りにおいて申出のあった日から当該資料区分による貸出期間を限度として認めることができる。

(館外貸出しの制限)

第 10 条 貴重図書及び教育委員会が特に指定した図書館資料は、館外貸出しを行わないものとする。

(返納を怠った者に対する処置)

第 11 条 教育委員会は、図書館資料を貸出期間内に返納しなかった者に対し、期間を定めて貸出しを停止することができる。

第 3 節 団体貸出し

(貸出しの対象)

第 12 条 教育委員会は、読書活動を行う市内の団体で教育委員会が適当と認めた団体に対し、図書館資料の貸出しを行うことができる。

(個人貸出しの規定の準用)

第 13 条 第 7 条から第 11 条までの規定は、団体に対する貸出しについて準用する。この場合において第 7 条第 1 項中「利用申込書(様式第 1 号)」とあるのは「団体利用申込書(様式第 4 号)」と、第 8 条第 1 項中「利用申込書」とあるのは「団体利用申込書」と、第 9 条第 1 項の表中「10 点以内」とあるのは「300 点以内」と、「3 週間以内」とあるのは「2 か月以内」と読み替えるものとする。

第 4 節 資料の複写

(図書館資料の複写)

第 14 条 図書館資料の複写は、著作権の侵害が発生しないよう留意する。ただし、技術上複写が困難なものその他教育委員会が不適当と認めたものは、複写することができない。

2 図書館資料の複写を行った者は、その費用を負担しなければならない。

第 5 節 移動図書館

(移動図書館)

第 15 条 移動図書館は、市内を巡回して、図書館資料の貸出しその他の図書館奉仕を行う。

(巡回日時及び場所)

第 16 条 移動図書館の巡回日時及び場所については、教育委員会が別に定める。

2 教育委員会は、天候の不順等により巡回が適当でないとき、巡回を中止することができる。

(移動図書館における貸出期間)

第 17 条 移動図書館により借り受けた図書館資料の貸出期間は、第 9 条第 1 項の規定にかかわらず、その場所を移動図書館が次回に巡回する日までとする。

第3章 図書館資料の寄託

(寄託等)

第18条 図書館は、図書館資料の寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する経費は、寄託する者の負担とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、予算の範囲内において当該経費の全部又は一部を負担することができる。

3 寄託された図書館資料の取扱いは、図書館の所有に属する図書館資料の取扱いの例による。

4 図書館は、寄託された図書館資料のやむを得ない事由によるき損、滅失、紛失又は汚損について、その責めを負わないものとする。

(寄託の手続等)

第19条 図書館資料を寄託しようとする者は、図書館資料寄託申込書(様式第5号)を教育委員会に提出し、承認を受けるものとする。

2 教育委員会は、寄託を受けたときは、寄託した者に図書館資料受託書(様式第6号)を交付するものとする。

第4章 図書館協議会

(図書館協議会)

第20条 田原市図書館協議会(以下「協議会」という。)に委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選により選出する。

2 委員長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第21条 協議会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 前3項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が協議会に諮って決める。

(庶務)

第22条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

第5章 補則

(委任)

第23条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、平成14年8月2日から施行する。

附 則(平成15年8月20日教委規則第6号)

この規則は、平成15年8月20日から施行する。

附 則(平成16年3月31日教委規則第8号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月22日教委規則第17号)

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

(3)田原市図書館資料収集方針

(目的)

第1条 この方針は、田原市図書館の管理・運営に関する規則(平成14年教育委員会規則第10号)第2条に規定する事業を十分かつ円滑に運営するため、田原市図書館(以下「図書館」という。)における資料の収集に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 図書館は、「知る自由」を持つ地域住民に、資料と施設を提供することを社会的に保障する機関である。地域住民の学習、文化、教養、調査研究、実用及びレクリエーションなどに資する資料を幅広く収集する。

2 広範囲な地域住民の要求や関心、潜在的なニーズ、社会的な動向を反映させ、将来的な利用も視野に入れて、組織的・系統的な資料構成に努める。

3 障害者、外国人、高齢者に対応する資料もニーズに応じて収集する。

4 この収集方針を公開し、地域住民の理解と協力のもとに資料を収集し、資料構成を行う。この収集方針は、地域住民の資料ニーズの変化に対応して適宜改訂していくものとする。

5 図書館は、この収集方針に応じて収集した資料を、資料リストの作成や企画展示などをおして、積極的に紹介をする。

(資料収集における留意点)

第3条 多様な意見、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

2 著者の思想的、宗教的、政治的な立場にとらわれずに公平、公正に収集する。

3 個人・組織・団体からの圧力や干渉に左右されずに収集する。

(収集資料の種類)

第4条 収集資料は次のとおりとする。

(1)図書

(2)逐次刊行物

(3)地域資料

(4)地図・パンフレット資料

(5)視聴覚資料

(6)ハンディキャップサービス用資料

(7)その他

(資料別収集方針)

第5条 資料別収集方針は、次のとおりとする。

(1)図書

ア 一般図書は、地域住民の学習、教養、実用及びレクリエーションなどに資するため、基本的、入門的な図書から大学教養課程を目途とする内容の図書を収集する。また、必要に応じて専門的な図書まで幅広く収集する。

イ 参考図書は、地域住民の調査研究のために必要な辞典、事典、年鑑、名鑑、目録、書誌及び地図など幅広く収集する。

ウ 児童図書は、児童が読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成と継続に役立つ資料及び調査研究のための資料を幅広く収集する。

エ ティーンズコーナーの資料として、特に中高生が関心のある分野を幅広く収集する。

オ 外国語資料は、在住外国人の娯楽や生活に役立つ資料を収集し、英語を中心にポルトガル語、スペイン語、中国語など居住者や使用頻度の多い母国語で書かれた資料を収集する。

カ 新鮮で魅力的な資料構成を維持するため新刊書を中心に収集するが、スタンダードな古典も幅広く収集する。

キ 多くの利用に応えるため複本についても柔軟に対応していく。

(2)逐次刊行物

ア 新聞は、主要全国紙を中心に、専門紙、スポーツ紙、児童向け及び海外の新聞などを収集する。

イ 雑誌は、国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に、海外雑誌、児童及びティーンズ向けの雑誌も含めて収集する。

ウ 年鑑、年報及び白書等は、一般図書及び参考図書に準じて収集する。

(3)地域資料

ア 田原市及び渥美半島を中心に、関連性の深い周辺地域一帯を含めた地域の歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業などを記録した資料を収集するものとする。

イ 田原市の作成及び発行する行政資料は田原市図書館条例第5条納本制度に基づき網羅的に収集する。愛知県及び県内市町村等の作成及び発行する行政資料も収集する。

ウ 図書を中心として収集するが、視聴覚資料、パンフレットなど幅広い種類の資料を収集するよう努める。

(4)地図・パンフレット資料

ア 地図資料は、冊子体地図ばかりではなく、地形図・海図など必要に応じて一枚のものも収集する。

イ パンフレット資料は、地域資料及び各地の情報を容易に得るため、寄贈を中心に収集する。

(5)視聴覚資料

ア 音響資料（CD・カセットテープなど）は、クラシック、ポピュラー、民族音楽、諸芸、文学作品・朗読、記録など、趣味、教養、レクリエーションに資するものを収集する。

イ 映像資料（ビデオテープ・DVDなど）は、著作権者の許諾を得たものを収集する。映画ばかりではなく、記録、趣味、教養、レクリエーションに資するものを収集する。

ウ 複製絵画は、貸出可能な資料を収集する。

(6)ハンディキャップサービス用資料

図書館利用にハンディキャップのある人たちへのサービスのため、録音図書、大活字本及び点字資料などを作成及び収集する。

(7)その他

ア マイクロフィルムは、新聞地方版・地域新聞を中心に、保存の困難な資料などを作成及び収集する。

イ オンラインデータベースについては、積極的な

導入に努める。

(資料選択の方法)

第6条 資料の選択は、図書館職員の合議によって行い、図書館長が決定する。

2 資料選択にあたっては資料構成のバランスや利用者のニーズを把握し、各種出版情報などを積極的に利用する。

(収集方法)

第7条 資料の収集方法は、購入を原則とするが、寄贈、配布等の手段も十分に活用する。この場合においても、この方針の基準を適用する。

(委任)

第8条 この方針に定めるもののほか、資料の収集に関する事項については、館長が別に定める。

附則

この方針は、平成16年4月1日から施行する。

(4)田原市図書館資料除籍基準

(目的)

第1条 この基準は、田原市図書館の管理運営に関する規則（平成14年教育委員会規則第10号）第2条に規定する事業を十分かつ円滑に運営するため、田原市図書館（以下「図書館」という。）における資料の除籍に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 図書館は、常に魅力のある適正な資料構成を維持し、充実を図るために、資料の除籍を行う。

(除籍の対象資料及び基準)

第3条 除籍の対象となる資料及びその基準は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、郷土資料及び館長が必要と認めた資料については、不用資料の選定対象から除外する。

(1)亡失資料

ア 資料点検の結果不明が判明し、その後引き続き調査しても3年以上所在不明のもの

イ 貸出資料のうち、督促等の努力にもかかわらず3年以上回収不能なもの

ウ 不可抗力による災害その他の事故により消失したもの

(2)不用資料

ア 汚損又は破損がはなはだしく修理不能であるもの

イ 内容上及び利用上からみて資料的価値を失ったもの

ウ 逐次刊行物で定められた保存期限の切れたもの（除籍資料の決定）

第4条 除籍資料の決定は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1)図書館に図書館職員で構成する資料選定会議を置き、除籍基準に基づき除籍資料の選定を行うものとする。

(2)館長は、前号の選定の結果に基づき、除籍資料を決定するものとする。

2 逐次刊行物の保存年限については、別途定めるもの

とする。

(不用資料の取扱い)

第5条 図書館は、除籍を決定した不用資料を、次の各号に掲げるとおり取り扱うものとする。

(1) リサイクルブックオフィスへの提供

(2) 小中学校等公共施設の図書室への提供

(3) その他館長が必要と認めるものへの提供

2 前号の規定にかかわらず、提供先が決まらなかった資料については廃棄する。

(委任)

第6条 この基準に定めるもののほか、資料の除籍に関する必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この基準は、平成16年4月1日から施行する。

「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」要約版

1 読書を振興する意義

読書の習慣は自分で考え行動する習慣につながり、本をめぐる語らいは人と人の心をつなぎます。読書は生涯にわたる発達に欠かせません。全生涯にわたって読書ができる環境を整え、読書活動を振興することが必要です。

2 計画の基本的な視点

- (1) 本計画は「第二次田原市子ども読書活動推進計画」を発展的に引き継ぎ、子どもに限らず誰もが自主的に読書のできる環境を整備する指針です。本計画の愛称「まち＊ほん」は、「まち（まちづくり）」と「ほん（読書）」を掛け合わせていることを表し、“マチホン”と読みます。
- (2) 課題解決のための読書や電子書籍など、時代に合わせた読書の目的や方法の変化にも柔軟に対応します。また、読書を通じた人と人の交流を大切にし、多彩な分野と連携して、生涯読書のまちづくりを推進します。
- (3) 計画のめざすビジョン「誰もが自然に読書に親しめるまち」を実現するため、読書環境と読書活動に関する指標を設定します。計画全体に関する評価指標として田原市図書館の利用状況に加え、不読率を使用します。

	現 状	目 標
貸出密度(人口一人当たり点数)	13.67点(平25)	14.00点
実利用率(年1回以上図書館資料を借りた市民の比率)	19.2%(平25)	20.0%
不読率(1年間、本を読まない人が市の人口に占める率)	小学生 9%(平26) 中学生 8%(平26) 成人 19%(平22)	減少

3 計画の前提となる諸課題

- (1) 学校図書館は人的配置、電算化等が進んでおらず、授業支援は不十分。
- (2) 中央図書館周辺とその他の地域は読書や図書館利用に格差がある。
- (3) 障害者、保育園児、高齢者等の読書弱者へのサービスは浸透していない。
- (4) デジタル化とネットワーク化への対応や、PRへの取り組みは不十分。

4 重点的に取り組む施策

- (1) 学校における読書・学習・情報のセンターとしての学校図書館の機能を強化し、バックアップする学校図書館支援センターを設置・充実させる。
- (2) 渥美・赤羽根両図書館を地域の情報と交流の拠点として、他の教育文化施設とのネットワークや複合化による相乗効果を高めていく。
- (3) 最新の情報技術を活用し、教育文化以外の分野とも協働しながら、読書や図書館利用に障害のある人たちが使いやすい読書環境を追求する。
- (4) 電子書籍への対応や地域文化資源の発掘・保存・活用とデジタル化の研究と試行について、東三河レベルの連携を視野に取り組む。
- (5) 生涯読書をPRする事業を実施、市民と共に読書振興活動を促進する。

5 4に掲げた以外の主な世代別の施策

- (1) 育ち・学びの世代(概ね、誕生から高校卒業まで)
 - ・乳児とその保護者への「ブックスタート事業」の充実
 - ・保育園における読書環境の向上

- (2) 働き・子育ての世代（概ね、高校卒業から子育ての終了・退職まで）
 - ・子育て、ビジネス、行政・議会を支援する情報や資料の提供の充実
- (3) 成熟の世代（おおむね子育ての終了・退職以後）
 - ・高齢者施設を巡回する「元気はいたつ便」の本格的な展開
- (4) すべての世代
 - ・健康や医療に関する情報や資料の提供の充実
 - ・司書・ボランティア等の資質向上
 - ・本をまちづくりに活かす「まち＊ほんパッケージ」の開発と提供

6 図書館の役割、目標及び管理運営のあり方

図書館は、本計画の策定及び実施に関する管理の事務局であると同時に、市の読書振興に関する施策を実行する中心的な機関としての役割を担います。

また、指定管理者によらず、非常勤職員を業務の主力に組み入れ、市民協働を充実することを前提とした、直営による効率的な図書館運営を進め、今後も質・量共に高い水準のサービスを実現していきます。

7 計画期間、実施体制、国の法令や他の計画との関係

(1) 計画期間とスケジュール

計画期間は平成27年度から平成31年度の5年間とします。

年 度	主な取組内容
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活用研究モデル校事業の実施（～平成28） ・学校図書館の電算化と人的配置の検討・実施（～平成31） ・文化資源のデジタル化等に関して諸機関と協議（～平成29）
平成28年度	・生涯読書の実施状況に関するアンケート調査
平成29年度	・モデル校、アンケート等の取組を踏まえた計画のローリング
平成31年度	・第二次計画の策定

(2) 実施体制

図書館協議会への報告及びそれに対する委員からの意見を踏まえ、図書館が中心となつて、関係する諸機関や市役所内の各部署と協議・連携し、総合的かつ計画的に進めていきます。

(3) 国の法令との関係

「子どもの読書活動の推進に関する法律」等にもとづき策定するものであり、同法に定められた「市町村子ども読書活動推進計画」を兼ねます。

(4) 他の計画との関係

「田原市教育振興基本計画・緊急課題対応プラン」の下位計画であり、27年度策定予定の「文化・生涯学習振興計画」及び「学校教育振興計画」の読書分野に関するアクションプランとしての性格を持つものです。

田原市の図書館 図書館事業年報（平成 27 年度）

発 行 者	田原市図書館
発行年月	平成 28 年 6 月
連 絡 先	中央図書館 TEL0531-23-4946 FAX0531-23-4646 赤羽根図書館 TEL0531-45-3426 渥美図書館 TEL0531-33-1114
ホームページ	http://www2.city.tahara.aichi.jp/section/library/
メー ル	toshho@city.tahara.aichi.jp